

コロナ禍の地域とソーシャルワークを問う ～変わること、変わらないこと、変えてはならないこと～

コロナ感染状況下において、地域で生活している人々の環境の変化と生活課題の変化に対して、保健医療分野のソーシャルワーカーは何を考へ何をしているのか、また何をしなければならないのかについて改めて問い直し、今後の我々の進むべき方向性を考えたいと思います。

開催日時：2021年9月26日(日) 9:00～16:05

開催方法：ライブオンライン開催

1. 基調講演「地域とソーシャルワークを問う～政策の観点から」

演者：棕野 美智子

松山大学 人文学部 社会学科 教授

(一社)日本保健医療社会福祉学会 会長

2. シンポジウム：コロナ禍の地域とソーシャルワークを問う

～変わること、変わらないこと、変えてはならないこと～

座長：宮崎 清恵 (神戸学院大学)

シンポジスト：(五十音順)

榊原 次郎 (医療法人樟立会たちかわ脳神経外科クリニック ソーシャルワーカー)

白野 倫徳 (大阪市立総合医療センター 感染症内科 副部長)

中 恵美 (金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長・ソーシャルワーカー)

丸山 秀幸 (馬場記念病院 医療福祉相談室 室長・ソーシャルワーカー/

ペガサスイキキネット相談支援センター CSW)

3. 分科会 (発表希望者は、演題・募集要領に則ってお申し込みください)

申し込み締め切りを7月20日に延長しました。

4. 参加申し込み (ホームページよりお申し込みください)

参加費：会員2000円 非会員3000円 学生1000円

※事前申し込みいただいた方のみ抄録配信のうえ、視聴可能といたします。